

(部局名 :産業技術部)

1.部局としてのアウトソーシングの方針 (重視する効果や、大きな課題などを主題にしてください)		
産業振興に貢献できる試験研究機関としての機能発揮を基本として業務の見直しを行いアウトソーシングを進める。 1 大学・企業等との共同研究の拡大と外部資金の確保 2 コア業務以外の業務のアウトソーシング 3 研究資源としての人材の確保 (研究員の確保)		
2.これまでの状況 (スリム化分を除く)		
現実施計画でのアウトソーシング率	11.30%	
H17～18 発注済件数	アウトソーシング推進関連	2件
	地域版アウトソーシング	0件
H19 予算件数	アウトソーシング推進関連	3件
	地域版アウトソーシング	0件
特記事項 (課題の克服など)	・19年4月から実施の定型的依頼分析試験業務と動物飼養管理業務、派遣から業務委託への転換 (仕様書づくり、設備機器の取り扱い等) 試験研究に関連する業務は厳密性が求められ、指揮命令ができない委託でのOSはハードルが高く、当初から委託できる業務は少ないため、派遣から業務委託への円滑な移行が必要 技能員業務に存在するコア業務の取り扱い	
3.重点的に取り組むアウトソーシング業務とその概要		
(1)取り組む業務 (又は分野)	1.野菜遺伝資源の更新 (農業技術センター) < 民間の力を活用して遺伝資源の充実 > 2.堆肥生産業務及び遊休農林地管理牛の飼養管理とシバ移植業務 (畜産試験場) < 新たな雇用の創出 > 3.ビデオによる牛・害獣の行動分析と記録業務 (畜産試験場) (地域版アウトソーシング) < 新たな雇用の創出 >	
(2)当面の課題	・派遣から業務委託への円滑な転換 (仕様書づくり、設備機器の取り扱い等)	
(3)進め方や年次の計画など		